

第61回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会【決勝】 番組部門・研究発表 審査結果及び講評

部門別・発表順に、講評を審査員ごとにまとめて載せています。

短い時間に講評を書いていたいたっているため、どうしても判読できない部分があります。ご了承ください。

結果欄がこの色の作品は、大阪代表として全国大会へ進出します。

○ 審査員

小島 史敬 (NHK大阪放送局・主審)

緒方 稔 (府立桃谷)

久下 哲也 (府立布施)

酒井 学 (府立槻の木)

阪本 純治 (桃山学院)

佐々木孝夫 (府立大冠)

樽野 泉 (常翔学園)

第61回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会【決勝】 番組部門・研究発表 審査結果及び講評

種	順	学校	作品名	結果	講 評						
RTキ	1	箕面自	響き伝える鐘の音	3位	人のインタビューが少ない。ナレーションの説明が多い。早い。この一音ないことが何か周囲にもたせられるものがあればいいが…。興味を…はいいが、…謎としてひっぱりが…	鐘の音をテーマにするのなら、実物の鐘を鳴らして録音して流して欲しい。	身近なところから題材を見つけ、ミステリーハンター風探索するのは面白い。古い学園OBへのインタビュー、制作会社調査、など広がり、足で努力した跡あり。ただ、ややテーマが弱い。	収録が難しい鐘の音をクリアに録れている。集音マイクなどを上手に使っている。取材・題材は身近なものに着目しており、高校生としての視点で見事に掘り下げている。	鐘という音にこだわった作品をラジオ番組にしているのはいい考えです。上手くまとまっていますが、一歩踏み込んでほしい。ナレーションが少ない方がいいのでは？	正しい予鈴の音がなぜない？音抜けの話から鐘の話へのつながりがやや苦しい。音抜けの話はなしにして、鐘だけで番組を作った方が良かった。少しナレーションに頼るところがある。	身近な予鈴の音に気づき、そこから学校の未来まで思いをはせるまとめ方が、素晴らしかったと思います。ナレーションの声も聞き取りやすかった。
RTキ	2	四天	適声適所のすゝめ	4位	何気ない疑問を持つのはいいが、実験するのは面白いが、さらにもう一歩踏み込んで、友人間だけでないものがあれば。	チャイムが入ってしまったインタビューは、使用しない方がよい。最後の最後のまとめ方がちょっと不自然な印象である。	タイトルがおもしろい！Tone of Voiceの違いがテーマで、実験も面白い試みだが、あまり差がはっきりしない。意図はいいが、あまり具体的に成功していない。	声色の使い分けというとても身近なテーマに注目し、その謎に迫っている。面白い。声を変えただけでなく、その効果や狙いについてまで調査している。「よそいきの声」についても少し調べてみては？	声のトーンの利用はいい素材なのですが、もつと面白く意外なことが出てくればよかったのですが…	みんなの声がどう変わるのか、の音の例が欲しかった。やってみてもらえばいいのに。実はテレビ向きの素材かも。話題は広がったが、まとめきれなかった印象。弊害の方でつっこんでいけばよかったか。	声を題材にした放送部らしい作品だと思いました。
RTキ	3	夕陽学	男たちの叫び	1位	ストレートな思いが伝わるし、現状をわかりやすく伝えている。リアル感が伝わっている。…この思いをどう解決していくかをできたらよかった。	テーマが面白い。作品全体を通じて、面白い作品に仕上がっている。	切実なテーマを扱えた！BGMと構成面白い。男子トイレまで2分という取材、先生インタビューもホンネでいい。男子のホンネVS女子のホンネがガチで面白い。校長エールもよう録ってきた！ホンネの面白さ、魂の叫びを感じる。笑える。	冒頭のタイトルコールで愉快さが演出されており、つかみは万全でした。音質も良く、「伝えたいコト」への熱さにあふれている。男のくだらなさ(良い意味で)が見事に表現されている。女の子は怖いね。	共学10周年の男子の悩み、面白い番組でした。生徒の声を多くつないでいて感じました。「男のつらさ」がよくわかりました。	テレビ向けかな。「関係ある先生」って？女子のルックスへの不満を入れるのは番組のバランスを悪くした。笑い内容が少しズレている。「一歩引く」とかではない。なぜ、共学にしたのかとか、なぜここに入学したのか、に突っ込んでほしい。	最後までテーマにそって、とても楽しかったです。深刻な声のナレーションや、インタビューの内容など、ドキュメントというよりドラマのようでしたが。
RTキ	4	金剛	JUMP KONGO!	入選	はっきりとしたテーマが見えにくい。まず教えてほしい。この応援歌がどんなことになったのか、なぜこれを(続きなし)20年前にどうだったのかわかるべき。なぜこれが伝わったのか？伝えるべき…？	実際の応援歌がそんな歌であるのかをもう少し聞きたかった。	やや学校のプロパガンダの色彩が強い。生徒の本当のホンネは出ていないのではないか。先生の行動が生徒への誘導になってしまっている。なぜ生徒自らが応援歌を作詞しないのか？生徒のモノとは言えない。	学校の応援歌は、21Cの高校でも存在するんですね。そういった類の唱歌はもう絶えたかと思ってました。この作品のテーマは「愛校心」、それを声高に言うのではなく、自然な形で表現している秀作。	ノイズが気になります。インタビューはポイントを押さえて使うべきです。…いい。番組の素材としては難しいのかもしれませんが、実際に歌っている音ももっとあればいいのみ。	去年の番組を聞いていない人に対して情報が不足している。例：山本先生って誰？エリア発表会って何？(番組が流れた後の審査員長の小島先生の質問は、番組の中に必要な情報)	
RTキ	5	成美	パンダフル号とともに	2位	単なる紹介にしか過ぎない。すぐ教科書的。パンが美味しい物なのかどうか、これがこれがいってほしい…良さを伝えてほしい。	取り上げたテーマ、インタビューの取り方・使い方、ともに良い。テレビドキュメントで取り上げた方が良かったかもしれません。	年々力をつけてきていて楽しみ、期待している。インタビューが型通りすぎる。“ナメてたらイカンで、障がい者の方を”よかった、ホンネ。インタビューが細切れで残念。むしろ障がい者がなかなか声を出せない点を前面に描いてはどうか。	学校に出入りする業者はたくさんいるが、生徒に直接関係するパン業者、それが地域の福祉事業であることに面白さがあります。「なめてたらアカンでな、障がい者のヒト」、この台詞、考えさせられますね。	テレビドキュメントの方がよかったのでは。パンダフル号がどんなものなのか見てみたい。どんなパンを作っているのか……。「仲間」の言葉の響きは重く感じるのはいい。	着眼点は良い。作業所の人声のとれていないのが残念、というか、とれていないことをもっと活かすか、とれていないなら使わないのか、何とかしてほしかった。やはりテレビ向きか。	パンダフル号って何か、とタイトルだけ見て思っていたが、学校と障がい者の作業所と地域のつながりという話で、興味深かった。エリアとは何かわからない。

第61回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会【決勝】 番組部門・研究発表 審査結果及び講評

種	順	学校	作品名	結果	講 評						
ＲＴドラマ	1	常翔	恋囁		ストーリーがアニメやゲームのシナリオに出てきそうて、オリジナリティが薄い。せっかく経験してるならそれを活かすべき。状況説明が弱い。セリフを読み合っているから、感情が見えにく、もったいない。	キョウコとソノミヤさんの声が聞き分けにくかった。話は面白かった。セリフがちょっと棒読みになってしまった。	王道ワンパターンだが、男女のホンネが出ていて軽妙なテンポ。「2割ほど応援してるよ」のセリフ面白い。わりに際どいが構成はできてる。しかし安易ではある。	冒頭の2人の掛け合いがテンポよく、作品全体の明るい雰囲気を生み出している。女の子2人の声の違いがちょっと分かりにくい。中盤から後半にかけて音割れが気になる。	テンポ・BGMはいい感じですが、何か軽い感じ。編集、音を大切にしてください。	音がこもっている？会話の掛け合いの細かいところがときどきわからない・ときどき聞き取れない。いまひとつ乗れない。声の演技をもう少し。	テンポ良くて、キャスト3人とも上手だった。話はいかにも高校生っぽい。
ＲＴドラマ	2	槻の木	ふる POWER	3位	人間を登場人物にしていないのが面白いが、オリジナリティを感じるものの主人公ははっきりしない。次は人を描いてほしい。結局同じパソコンなので、もっと違いがはっきりしたもので作るのもよかったか？セリフや音を加工で面白くしようとするのはいい。	ラジオドラマだからこその内容です。話は面白かったです。	パソコン擬人化のアイデア面白い。もう少しSEに工夫欲しい。オチも一応読めるけど、できてる。	掛け合いを3人でしているが、きちんと声が聞き分けられる。アスカの憎たらしさの演技が秀逸。放送部員のシーンとPCたちのシーンとの違いは大丈夫？時事をとらえた意欲作。	PCの擬人ドラマはラジオドラマではいい素材です。面白い作品です。サポート終了と大量消費に目をあてているのはいい。	パソコンが登場人物だと明らかになるタイミングが良かった。テーマ性としてはどうか。	始まって少しして、登場人物がパソコンというのがわかって、その意外性でまず引き込まれた。
ＲＴドラマ	3	箕面自	ダメダメたかしとヒーローばあちゃん	1位	ストーリーの摩訶不思議さやオリジナリティはあって面白い。おばあちゃんが、いい。	ストーリーが面白いです。セリフもしっかり喋っていて良かったです。	車イスのおばあちゃんがヒーローというアイデア面白い。70年やってるんやな。怪人が仕事で引退というのも面白い。NHK-FM「電光仮面最後の闘い」(1991)みたい。恩返しで怪人役という人情劇もいい。オチは当然だけど、ほほえまし	おばあちゃんの演技が秀逸。「ツボ押し100連発」を是非受けてみたい。世代間の断絶が指摘される、時代を踏まえた秀作。頭を打つSEと「痛っ」の台詞に少しタイムラグがある気がするが…	怪人・おばあちゃんの組合せや、怪人が辞めるといった内容、面白いです。怪人の人間臭さが何とも言えませんでした。	電柱とぶつかった音と声の間が変。怪人ザリガニオバケって何？何の建築士？ばあさんと怪人の関係とか設定よくわからない。怪人でなく普通の人間ならこの孫みたいにならなかつた。	設定がいろいろ無茶だけど、話は面白かった。もってテンポよく進んだらもよかった。
ＲＴドラマ	4	金剛	必死	2位	役者と芝居がいい。セリフもオリジナリティを感じる。尻切れ感。もう少し人物や状況を視覚的にわからせられればもっと物語を引っ張れる。心情が唐突。高校生のリアルな感情が素直に感じられた。	ストーリー面白かったです。演技もしっかりできていました。	Ｒドラマのルーツ、BBC「炭坑の中」も暗闇の中だった。だが、教条主義的なストーリーだ。トワイライトゾーン「遠い道」「ヒッチハイカー」をみてみて。掘り下げも甘い。オチは読めるし、唐突、もってドラマが欲しい。	2人の掛け合いはラジオドラマならではのシーン。会話だけでシリアスな作り出している雰囲気。必死」という言葉から難しいテーマを扱った意欲作。「来世」からの件は少し強引か？面白い。	二人芝居のドラマ。生と死の狭間が表現できてよかった。	演技上手いのに、「忘れて」のアクセントが気になる。人生に必死であるためになぜに死ぬ(死にかけるといふ話を作る必要があるのか？バンド「雨上がり」とか、エピソードの重さが中途半端。	状況がはっきりしないなかで、続く会話だけで、不自然でなく状況が説明されて、一気に登場人物の精神の高ぶりまで行く勢いがよかった。
ＲＴドラマ	5	池田	高校電車	入選	高校電車というのが、(判読困難文字)ドラマ上、改めて知るべきものなのか。普通に転校でもよくて。しかも、ドラマの展開が見えてしまう。	過去と現在が入れ替わっているシーンが、少しわかりにくかった。ストーリーは良かった。	深刻なテーマを空想アイデアに活かしている。タイトルもユニークだ。しかし、その制度自体への疑問はないのか？ウルトラQ「あけてくれ」をみて。制度に潜むマイナス面も抉ってほしい。	高校生ならずとも誰もが思うこと、現状に嫌気がさして、他が良く見えてしまう、そしてその理由を他に求めてしまう。「人生は自分で楽しくするもの」、良い台詞ですね。発想面白い。	主人公の心の迷いが表現できています。高校生が持つ悩みがよくわかります。	時間設定が入れ替わったり、回想と現実とか、ラジオではわかりにくい。「電車」は比喻？幻想？よくわからない。	高校電車の制度がなくても、話自体は成立すると思う。
ＲＴドラマ	6	箕面自	言玉	入選	ガラス玉が(判読困難文字)されていなくてもいい。これもよくありがちなストーリーとテーマ。オリジナリティをガラスをもっと用いてイメージさせて活かして欲しかった。これも展開が読めてしまう。	ストーリーがシンプルでわかりやすい。	心の声とガラスの球体は音で表現しにくい。でも気持ちやなかなかな言えない女の子の成長をうまく表現できている。TVドラマにした方がいいけど。	「心の中で」、この台詞は演出を加えても良かったかもしれない。この女の子2人は、だいぶフレンドリーな演技のように感じるが、排他的な設定と少しズレてはいまいか？作品の設定自体は面白い。	心の声をテーマにして、ラジオドラマにしているのはいい。ガラスに例えているのはいい。乙女心の動きがよかった。	そもそもの設定がよくわからない。(心の声のわかるのは、なぜ彼にだけ？言いたいことはわかる。今日とか明日とか時間・場所がはっきりしないのが残念。	心の声が割れるという設定でホラーみたいな話かと思っただけ、甘酸っぱい話で可愛らしかった。

第61回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会【決勝】 番組部門・研究発表 審査結果及び講評

種	順	学校	作品名	結果	講 評						
TVドキュ	1	槻の木	けーす バイ けーす	4位	調査する、取材するのはいいと思うが、それから先に何が起きてくるのか、作り手が受け手に何をどう伝えるのか、テーマとしてそこが弱い。伝えたいものがわかりにくい。	筆箱の中身を円グラフで表すなど、見やすい工夫がされていた。	筆箱と中身は映像で表現するのに向いている。グラフも効果的。だが、静止画とインタビューがほとんどで単調になる。もう少し動きのある映像をユーモラスに描けば？	テーマ設定は身近なところに注目しており、大変良い。グラフの見せ方や、データ分析に難あり。	身近な筆箱を取り上げているのはいいのですが、もっと面白くできたのではないだろうか？BGMが欲しい。	取材○。筆箱2つへのつなぎ、もっとスムーズに。中身の写真に持ち主の声をかぶせる方がわかりやすいのでは？グラフを出すならもっと見やすいグラフに（色を変える）。グラフの字が細かい。平均の筆箱の写真がない。	筆箱の中身を調査する着眼点が面白かったです。調べた結果をわかりやすく（具体的に平均的なペンケースを作ってみる、など）示してくれるとわかり良かったです。アイデアですが、ペンケースの中に個性という発想がユニークだと思いました。
TVドキュ	2	高槻北	高校生チャリ通事情	3位	現状は何となくわかるが、どのくらいの事故が起きているのか、わからないので、それをわからせるべき。実際事故の報告書が出ているなら、それを見せるべき。作り手の意図はわかるけど、もっとその必要性を感じさせてほしい。道徳的にはいいが……	生活指導の先生に聞いたりして、今までのケースを紹介するなどしたら、よりアリティが出てくると思う。	オーソドックスでまじめな制作法。インタビューが単調になるので、インサート映像を入れたい。校内でHR教材として活用したい。	ルールを守ることを前提としている作りなので、もう少し高校生のホンネを聞きたい。坂道を下りる高校生に、なぜスピードを出すのか、インタビューしてみれば？全体的に良し。	テンポよく作るべきです。インタビューのつなぎ番組となっています。啓発番組に仕上がっています。	インタビュー音小さい。取材○。長回しのインタビューが多い。最後の映像の話をもっと取り上げるとよかったです。	校内だけでなく、多くの人にインタビューしているのが良かったです。
TVドキュ	3	箕面自	「絆」から「きずな」へ	1位	震災の話や、テーマの大切さはよくわかるが、この活動やであった人をただ紹介しているにとどまっている。もっと全員が地元の人々とうかがわっているかをナレーションでなく、いろんな人の想いをいろんな人々の声を聞きたい。ナレーションで語りすぎが残念。	重たいテーマに正面から取り組んでいる。しっかりした内容の作品になっている。	地図効果的、自ら現地へ同行し、地元の人々にふれあい、見事なドキュメントになっている。自分たちの足で体験してこそそのナマの感動が伝わる。	ナレーションの文章はもう少し短くまとめた方が聞きやすい。テーマは他校にはでない独自で素晴らしいもの。欲を言えば前半の放送部のササキさん宅でのエピソードはカットしては？	吹奏楽部の部員が変わっている様子がわかりました。生徒目線が良かったです。	吹奏楽部の活動の紹介に徹していたが、放送部として何をやるのか（現地の放送部との交流など）があれば、より良かった。	
TVドキュ	4	夕陽学	記憶と色 徹底検証！	2位	頭の…が、今回のテーマに結び付けるまで長い。むしろ…に特別クラスは持ってこないのがよかった。ナレーションのリードの仕方はいい。実験を使うのもいい。	ブレやフレームアウトなど、カメラワークをもう少ししっかりと、S類に焦点をあてているのか、色に焦点をあてているのか、しぼった方がいい。	映像がやや不安定、人物の視線方向に余白をあけて！実験はユニークだが、妥当性はどの程度か？色だけが決め手になっているといえるのか？	冒頭の「勉強で困っている……」シーンで、生徒なのか先生なのかインタビューに答えているのが誰なのかわからない。立場によって回答は異なるはず。中盤から「色」の話題に移行していく展開が意外性あり。	カメラワークをもっとうまくなれば良い。学術的な裏付けも欲しいところです。	実験に入る前が長すぎる。実験結果は十分に有意差があるとは言えないレベル。同じ子のインタビューが多い。なぜ青かを検証しないと。	

第61回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会【決勝】 番組部門・研究発表 審査結果及び講評

種	順	学校	作品名	結果	講 評						
TVドラマ	1	箕面自	オトサレモノ	1位	テーマを面白く伝えようとしていいと思う。ところどころ「？」と…かかるところはあるが、次は人物を描いてほしい。ただ、何かをまねて作った感も感じる。	面白いアイデアの面白い作品でした。	「TOY STORY 2」がモデル、擬人化ドラマのアクションがユーモラス、ラストには抒情性もあり。見ていてほほえましい。変にリアルさもあって面白い。	写真のみを紙芝居のように続けてみせることで、これまでの物語を作れるとは……優秀作。結局、見捨てられた落し物たちはどうなったのでしょうか？	手間のかかる作品をよくできています。高校の落し物の現状をよく表しています。	クルトガとか0.2ミリとか、みんな上等なの持ってるのね。アイデア・静止画技術、声、演技、みな上手い。テーマ性もある。	トイ・ストーリーみたいで面白かったです。
TVドラマ	2	大倉	泣きっ面にwitch	3位	セリフが聞き取りにくいところがあるのが、もったいない。何を映像で見せるかをもうちょっと考えてほしい。主人公が行動をもっと見せてほしい。もっと動きのある芝居があればよかったのかも。	会話が聞き取りづらい。直球のラブストーリーで話は分かりやすい。	安易な設定でベタなストーリーだが、生徒は楽しめるだろう。WITCHにもう少し奥行きが欲しい。	主人公の男の子の声がちょっと聞き取りにくい。この魔女さんなかなかのオトボケですね(笑)アテレコしているようだが、口と音があっていない？全体として安心して見られるコメディラブストーリー。	高校生の悩みをテーマにした作品で、きれいにまとめています。デスノートの幸せ版のようです。	アフレコがイマイチしっくりこない(ノイズ・SEが大きいかな)。演技もう少し。後半、アフレコずれてる。設定は面白い。	魔術師のキャラクターが良かったです。
TVドラマ	3	箕面自	オレたちの音楽	入選	よくある定番なストーリーだけにオリジナリティがもったいない。高校生らしいテーマを用いるのは好感が持てる。もっと掘り下げてほしい。	よくある青春ストーリーに正面から取り組んだ。演技もしっかりしている。	「けいおん」男子版、ベタなワンパターンドラマ、ストーリーはすぐ読めてしまうが、生徒は楽しむだろう。	放送部のメンバーに楽器ひける子がいるのはすごい。駅前に公園あるんですね？中盤、ちょっと暑苦しい。王道の青春ドラマで全体的には安心して見られた。	青春ドラマの王道といった作品です。安心して見ることができます。	全体としての完成度をもっと上げよう。SE・BGM・演技？アフレコ。少しずつ上げれば、とてもよくなる。	
TVドラマ	4	箕面自	僕の見る世界	2位	障がい者を主人公にするには、扱いを大事にしてほしい。単なる恋愛モノでしなく、その先にあるテーマとして取り扱ってほしい。	演技はしっかりできている。話の展開が少しわかりにくい。	カットバック効果的。設定はワンパターンだが、登場人物の気持ちはよく描かれている。安易にハッピーエンドにしないところもいい。キーにもう少しドラマ欲しい。	主人公が目にはサングラス(?)しているのは、何か演出としての意図があるのか？空の映像とてもキレイでした。告白するシーンで黒板に言葉を書く演出は良!!もう少し主人公の説明が欲しい。	ドラマの中でそれぞれの登場人物の心情がよく表されています。	カットによって音が違うのは、謎かけ部分が多く、主人公の「見えない」苦悩と交わって、わかりにくさが増してしまっただけ。	目が見えない主人公は難しいと思いますが、その設定をうまく使っていることが分かりにくいと思います。恋愛と目が見えない主人公のどっちかでよかったように思います。

第61回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会【決勝】 番組部門・研究発表 審査結果及び講評

種	順	学校	作品名	結果	講 評						
研究発表	1	金剛	効果音の効果的な つくりかた	研究奨励	説明もわかりやすく、丁寧に伝えていることに好感が持てる。実演したり、いろいろな工夫を興味深く紹介しているのがいい。	パワーポイントで見やすく、わかりやすい発表でした。	効果的リアルタイムの映像、傘の集音マイクのアイデア面白い。ユーモアもあり、紙鉄砲と証書の筒の音もアクション付きでいい。	地道な放送部の活動の涙ぐましい工夫・努力が見えました。もう少しスムーズに音が出せたらよいですね。	効果音の作り方、ビニール傘の工夫は参考になります。音声編集ソフトも有効に使用しているのもいいです。	予算を金額にして比較するなど、見せ方を面白くしてみよう。作品の中でSEを使っている音を聞かせてほしいかった。	お金のかからないように、という工夫が高校生らしく、身近なものを使っているのも、実際できそうで、勉強になりました。
研究発表	2	夕陽学	Hear or Listen ～改善の道も一歩から～	研究奨励	何かオリジナルな工夫があるとよかった。興味深いテーマであるよかったが…。(他校とは違った、さらに独特な工夫)	放送部の活動に真剣に取り組んでいるのが伝わってくる。	リアルタイム映像ぴったり。グラフ効果的。少しでもListenを増やす努力の積み重ねがよくわかる。リサーチとフィード、バックの成果出ている。活動に寄与大。	校内放送の置かれた状況について、きちんと丁寧に分析している。もう少し字が大きく表示されたら良いですね。	番組作りの基本を押さえる研究だと思います。	パワーポイントの色づきは見やすくなるように。生徒の反応など、音も欲しかった。	良く聴いてもらうための地道な努力
研究発表	3	成美	やってみよう！デジタル化		これもまた少し興味を引く内容であるとよかった。オリジナル性が欲しい。あえて他校と違った工夫を行っていることがあればよかった。	他校でも今後取り組まなければならない問題をタイムリーに取り上げている。	デジタル化のマニュアルはよく工夫している。だが、どうしても映像が必要とまで言えず、単調になってしまふ。	府立高校の放送部が抱える音源管理について、基礎からの解説でよくわかった。とちったときの「ごめんなさい」はなくても大丈夫ですよ。	どの学校でも抱えている問題なので、良い提案だと思います。	デジタル化の意味は最初に。パワーポイントの類を使いすぎです。「拡張子を変える」は不正確です。CDはデジタルだし。	